

2022. 4. 15

柔らかな日差しを受けて木々の葉が日に日に色を増し、心地よい季節となりました。堂谷津の里では、タンポポやスミレの花が咲く中をチョウやアブが飛び交い、ウグイスのさえすりやシュレーゲルアオガエルの鳴き声が谷津に響き渡ります。元気な里山の一年が始まりました。

春を待ちわびていたチョウ



ツマキチョウ



スジグロシロチョウ



モンシロチョウ



蜜や花粉を求めて飛ぶチョウ

春のトンボ



ニホンカワトンボ



シオヤトンボ



キタキチョウ



ベニシジミ



クロアゲハ



ホタルカズラ



フデリンドウ



アカネスミレ



ニリンソウ



ウマノアシガタ



ミツハツチグリ



チゴユリ



イカリソウ



シュウニヒトエ



ウグイスカグラ



モミジイチゴ



ニガイイチゴ

雑木林の花たち

足もとに咲く可憐でかわいい花。散策が楽しみときです。

実のなる木

<季節メモ> 道端の雑草 ハルジオン

「ピンク・フリーベイン」として日本へ。素敵な名前の主は「ハルジオン」。当初は注目を浴びたが時は流れて今や道端の雑草。春に咲く紫苑と命名されたが「貧乏草」という別名もあり「侵略的外来種ワースト 100」に選ばれる。花は白色が多いが堂谷津の里で時に見る赤紫色の花は、ピンク・フリーベイン本来のDNAか？きれいな空気の中で育つと赤紫になるとも？もうすぐ、そっくりのヒメジョオンが立ち上がってくる。

写真・編集：晝間

